

中国四国支部講演会論文原稿の書き方

Information for contributors

正 機械 一郎（機械大）， ○学 広島 二郎（機械大院）

Ichiro KIKAI, Kikai University, 1-2-3 Takaya, Higashi-Hiroshima, Hiroshima, 739-0000 Japan

Jiro HIROSHIMA, Kikai University, 1-2-3 Takaya, Higashi-Hiroshima, Hiroshima, 739-0000 Japan

Key Words: Manuscript, Format, Font, Title, Authors' Names

1. 原稿のフォーマットの概要および原稿の長さ

用紙は「A4 縦置き」としてください。余白は、「上が 20 mm」, 「下が 25 mm」, 「左右が各 15 mm」としてください。

本文は、2 段組とし、中央に 10 mm の空白を設けてください。文字数・行数は標準的な設定にしてください。

本文の各段落の先頭は、1 文字分「字下げ」してください。本文および図表の文字サイズは 9 ポイントとし、本文中の文字のフォントは、明朝体・Serif 系 (Century, Times New Roman など) を利用し、章節項については、ゴシック体を使用してください。

句読点については、読点として全角のカンマ「、」を、句点として全角のピリオド「。」を使用してください。

原稿の長さは 2 頁程度とし、原稿にページは記入しないでください。

論文原稿は、フォントを埋め込んだ PDF ファイルで提出してください。ファイルサイズはなるべく 2 MB 以下にしてください。PDF ファイルに埋め込まれたフォントは、PDF ファイルを開き、「ファイル→プロパティ→フォント」で表示できます。

2. 表題や著者名の書き方

1 行目には「講演番号」を「半角・Arial フォント相当・12 ポイント・10 mm 字下げ」で記入してください。

2 行目には「邦文表題」を「MS 明朝フォント相当・14 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

3 行目には「英文表題」を「Times New Roman フォント相当・12 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

4 行目は「空白行」にしてください。

5 行目から「邦文氏名」を書いてください。「MS 明朝フォント相当・10 ポイント・中央寄せ」で記入してください。なお、上の例のように、氏名の左には会員資格を正・学のように書き添え、氏名の右には所属を丸かっこで囲んで略記してください。また、連名の場合には、講演発表者の前に○印をつけてください。

邦文氏名の下には、「英文氏名および所属機関の名称と所在地」を「Times New Roman フォント相当・10 ポイント・中央寄せ」で記入してください。英文氏名には、氏名の前の○印は不要です。

英文氏名および所属機関の名称と所在地の下には「1 行空白行を入れ」、その下に「キーワード」を 5 つ以内、「Times New Roman フォント相当・9 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

3. 図および表の書き方

3.1 図の書き方

本文中では、図 1 のように日本語で書いてください。図のキャプションは、図の下部に英文で記載してください。また、図は英文で作成してください。講演論文は USB 配布しますので、図はカラーでも構いません。

3.2 表の書き方

本文中では、表 1 のように日本語で書いてください。表のキャプションは、表の上部に英文で記載してください。また、表は英文で作成してください。表の体裁については、機械学会論文集を参考にしてください。

表は、MS Word の作表機能を使って作成するか、画像ファイルとして貼り付けるか、いずれでも構いません。

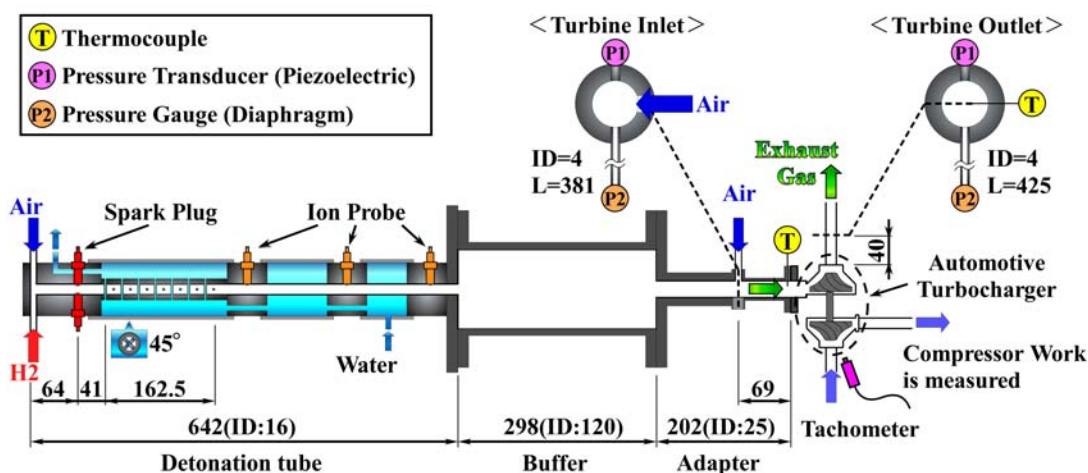


Fig. 1 Experimental arrangement.

Table 1 Experimental conditions.

| Operation frequency (Hz) | Operation time (min) | Gas-supply pressure (MPa) | | Equivalence ratio | Fill fraction of the detonable gas in the detonation tube |
|-----------------------------|-------------------------|---------------------------|----------------|-------------------|---|
| | | Air | H ₂ | | |
| 60 | 10 | 0.64 | 0.42 | 1.1 | < 0.74 |
| 10 | 20 | | 0.35 | 1.0 | 0.74 - 0.93 |

4. 引用文献の書き方

引用文献については、本文中の引用箇所の右肩に小括弧をつけて、通し番号を書いてください。例えば、新宿・渋谷⁽¹⁾⁽²⁾のように書いてください。引用文献は、本文末尾に番号順にまとめて書いてください。その際、日本語の文献を引用する場合は日本語表記とし、英語の文献を引用する場合は英語表記とし、引用文献の書き方の詳細については、機械学会論文集を参考にしてください。

5. その他

講演会で発表される論文は、全てそのアブストラクトがJST データベースに収録されます。なお、このJST データベ

ース用抄録は講演申込時にご登録頂いた「アブストラクト」を用いることと致しました。

謝辞

本講演会は、〇〇〇の補助により開催いたします。

文献

- (1) 新宿太郎，渋谷二郎，“論文の書き方”，日本機械学会論文集 A 編，Vol. 52, No. 485 (1987), pp. 111-116.
- (2) Keer, L.M., Knapp, W., and Hocken, R., “Resonance Effects for a Crack Near a Free Surface”, Transactions of the ASME, Journal of Applied Mechanics, Vol. 51, No. 1 (1986), pp. 65-69.